

「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた 既存RC造及びSRC造建築物の耐震改修設計・施工指針講習会」のご案内

財団法人 日本建築防災協会

2010年改訂版をテキストに講習会開催

既存建築物の耐震改修が行われる際、施工の容易性、短期性等の特徴から、炭素繊維等の連続繊維補強材を用いた耐震改修が多く実施されています。この工法を用いる場合、特に適切に設計・施工されることが重要です。

このため、本会では、1997年に「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」を発行していましたが、その後、改訂委員会（委員長：松崎 育弘 東京理科大学名誉教授）において検討が進められ、このたび「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」として発行することとなりました。

改訂の主な要点は、以下のとおりです。

最新の材料の規格（JIS）・試験法（JISまたはISO）・基準（本会発行「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針」及び「2009年改訂版既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針」等）の内容に整合させたこと

靱性指標や軸力支持能力等の項目について最新の技術的な知見を追加するとともに、従来の記述についても現状に合わせて見直しを行ったこと

本書をテキストに下記により講習会を開催します。

建築物の耐震改修の推進が喫緊の課題となっています

平成7年の阪神・淡路大震災後も平成16年の新潟県中越地震をはじめ多くの被害地震が発生し、多数の建築物が被害を受けています。また、近年は東海・東南海・南海地震等大地震発生の逼迫性が指摘されるとともに、首都圏など何時何処で起こるか分からない直下型地震の発生も危惧されています。このような状況の中で、建築物の耐震改修の実施は喫緊の課題となりニーズは増大しています。

建築設計・施工技術者、営繕・施設担当者、建築行政担当者の皆様には是非受講して下さい。

建築設計・施工・監理技術者、営繕・施設担当者、建築行政担当者をはじめ建築物の設計・施工・工事監理・維持保全業務に携わる皆様には、是非この機会に受講され、連続繊維補強材を用いた適切な耐震改修設計・施工に係る最新の技術を習得され、今後の業務にご活用されますようご案内いたします。

本講習は、建築士会継続能力開発（CPD）制度認定講座4単位（予定）です。

本講習は（社）日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価点対象講習会（申請中）です。
記

1. 開催地・期日・会場・定員

開催地	期日	会場	定員
東京	2010年1月28日（木）	TOC有明 WESTホール1～3 東京都江東区有明3-5-7	300人
大阪	2010年2月2日（火）	天満研修センター 9Fイベントホール 大阪市北区錦町2-21	200人
福岡	2010年2月4日（木）	九州ビル 5階ホール 福岡市博多区博多駅南1-8-31	150人

主催 (財)日本建築防災協会 協力 繊維補修補強協会
後援 国土交通省、東京都、大阪府、福岡県、日本建築行政会議、(社)日本建築士会連合会、
(予定) (社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築構造技術者協会、(社)建築業協会
開催地：建築士会・建築士事務所協会・建築防災関係地域法人
既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

2. 受講料 18,000円(消費税込み・テキスト代含む。)

3. テキスト

「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」

((財)日本建築防災協会発行、国土交通省住宅局建築指導課監修、2010年1月発行予定)

講習会受講者特価9,000円(消費税含む。)(定価10,000円)

4. 講習内容及び講師(予定)

(都合により一部変更となる場合があります。)

- (1) 開会挨拶(10:35~10:45) 開催地建築行政担当課長等
- (2) 改訂の要点および連続繊維補強材を用いた耐震改修について(10:45~12:00)
- (3) 耐震改修設計指針の解説(13:00~14:30)
- (4) 耐震改修施工指針の解説(14:40~16:10)

講師予定(改訂委員会の下記の委員が各会場分担により担当します。順不同、敬称略)

松崎 育弘	東京理科大学名誉教授	福山 洋	(独)建築研究所
中野 克彦	新潟工科大学教授	勝俣 英雄	(株)大林組技術研究所
木村 耕三	(株)大林組技術研究所	塚越 英夫	(株)清水建設技術研究所
谷垣 正治	(株)三井住友建設技術研究開発本部		

5. 受講申し込み方法

(1) インターネットによるお申し込みと、(2) 郵送によるお申し込みがあります。インターネットによるお申し込みの場合は振り込み手数料等がかかりません。郵送によるお申し込みの場合は振り込み手数料をご負担下さい。

できるだけインターネットによるお申し込みにご協力下さいますようお願いいたします。

申し込み方法の詳細は、以下「8. 申し込み方法の詳細」に記載しております。

(ご注意)

- ・インターネットによるお申し込みをされた場合、「郵送によるお申し込み」記載の「銀行振込口座」へのお振込はできません。必ずインターネットによるお申し込み指定の手続きに従って受講料(テキスト代含む。)をお支払い下さい。
- ・お支払いいただいた受講料は、当方の都合により受講をお断りする場合を除いて返金いたしません。

6. 申込先・問合せ先

(財)日本建築防災協会 連続繊維講習会係(03-5512-6451)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8F

(お願い)

- ・インターネットによるお申し込みについてのお問い合わせは以下へお願いします。
TEL.042-628-9560(サンパートナーズ(株)講習会係)

7. 申込締切期日

各会場開催1週間前。(郵送によるお申し込みの場合は必着)

ただし、締切日前でも、定員に達し次第締め切ることがありますのでお早めにお申し込み下さい。

8. 申込み方法の詳細（できるだけ（1）インターネットによるお申し込みにご協力をお願いします。）

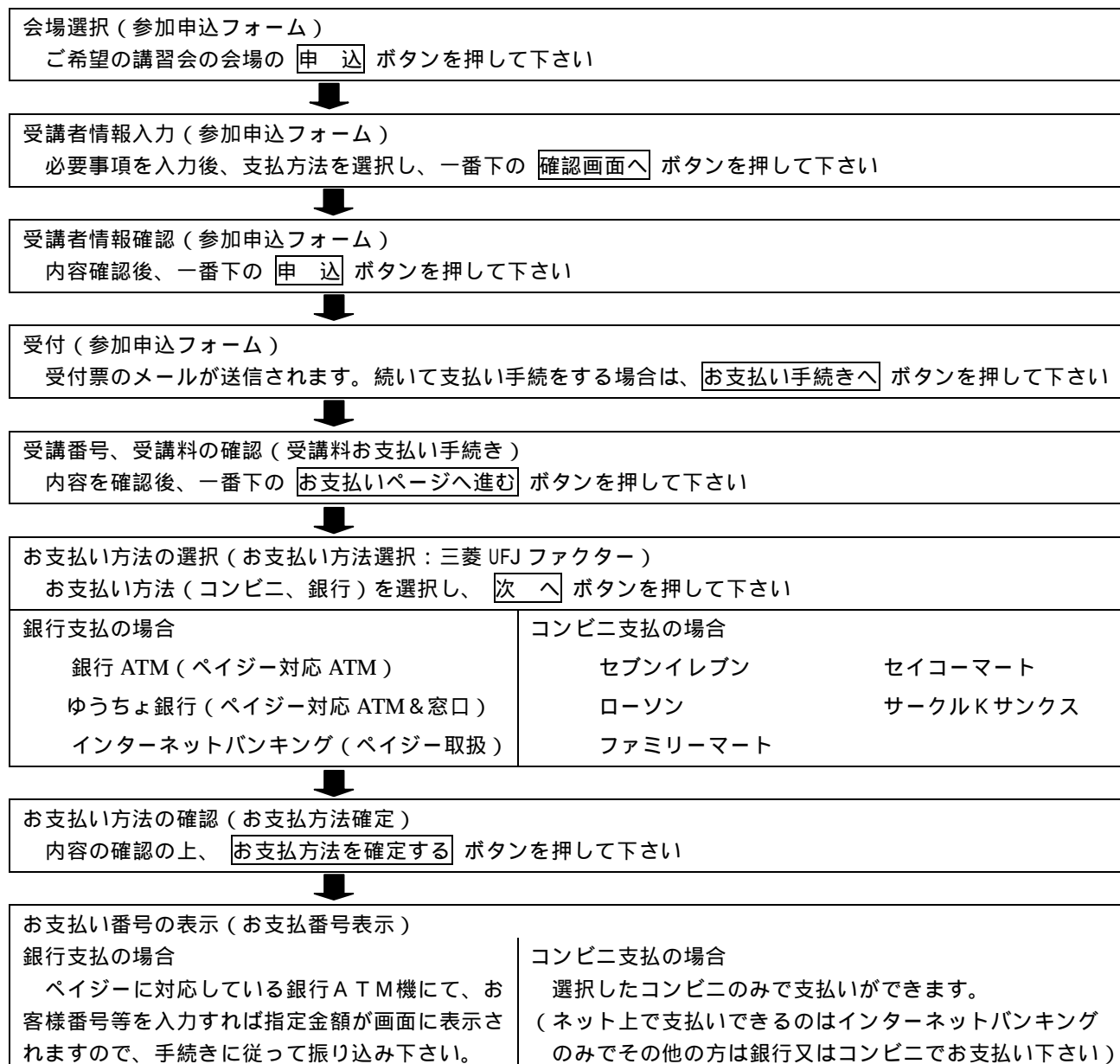
（1）インターネットによるお申し込み（振込手数料等はかかりません。）

下記へアクセスし、画面の案内に従ってお進みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html>

下記の支払方法のうち1つをお選びください。

- ・コンビニ支払
- ・銀行（ペイジー対応ATM）・ゆうちょ銀行（ペイジー対応ATM&窓口）
- ・インターネットバンキング



お申込み後、すぐに受付票（受講票ではありません）をメールにて送信いたします。
ご希望の支払方法をご選択いただき、手続きされた支払方法にてお支払いをしてください。
入金確認後、受講票をメールにて送信いたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

- 1 インターネットからのお申込みの場合は、申込書のご送付は必要ありません。
- 2 受付、支払方法のご選択をされても、受講料のお支払いが無い場合は、受講できません。
- 3 受講申込の際に入力された個人情報に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。

このインターネットによるお申し込みについてのお問い合わせは以下へお願いします。

TEL.042-628-9560（サンパートナーズ（株）講習会係）

(2) 郵送によるお申し込みの詳細(振込手数料はご負担下さい。)

以下の受講申込書(1名につき1枚。コピー可)に記入し、事前に受講料を下記の銀行振込口座へ振り込みした受領証のコピーを申込書所定の欄に貼付し、前記6の申込先・問合せ先宛郵送してください。FAXにて、受講票及び会場案内図を送付いたします。

みずほ銀行 虎ノ門支店 普通 2998880 (財)日本建築防災協会

ザイコホケンチホウ ヲサキヨウカイ

キリトリ

「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた 既存RC造及びSRC造建築物の耐震改修設計・施工指針講習会」受講申込書(郵送によるお申し込み用)

インターネットによるお申し込みの場合は、この受講申込書は必要ありません

フリガナ	希望する会場に 印を付けてください		
受講者氏名	東京会場(1/28)		
連絡先	自宅・勤務先 (何れかに 印を付けてください)	大阪会場(2/2)	
住所	〒 - - 都・道 府・県		
勤務先名			
勤務先部課名			
電話番号	- -	FAX番号 (受講票送信のため、 必ず記入してください)	- -

銀行の振込受領証のコピー貼付欄

(剥離しないように、しっかりと貼付してください。)

この申込書に記載された個人情報は、講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。